

政權交代

五國の筋跡

(4)

なつた。新部長には“二重選手”の悪評が与えられ“人事の刷新は、県の幼稚團化は困る”といふが、県庁の幼稚團化は議会側からも苦情が出た。若手課長のなかには、三ヶ月に一回の割で課長のイヌを取られかえられたものが何人もいる。しかも一般職、二年半で二年半前田伊勢七

したのは水俣病紛争調停。この難問も年内に一応解決し、これと歩調を合わせるかのよう、懇親だつた県職員の給与改定問題や県としてくるか？その本格的動向はまだ

本知事が初掌した月十一日から起きた。結局はこの一年が建設のための破壊と地ならし、映画の招待券を配つてパレードを行なった。しかし寺本ブームはついに起きた。精闘はこの一た。知事選で桜井前知事を応援した。しかし寺本ブームはついに起きた。結局はこの一年が建設のための破壊と地ならし、映画の招待券を配つてパレードを行なった。

の連続だった。　のようだ。人中と機構と行政の三
難の連続だった。　が寺本原政は多事多
らもう十九月余だ。　だ年が“建設のための破壊と地なら
し、映画の招待券を配つてバレた。　◇人材がいないうえに問題が多
く問題が起きたのは課長が勤員され
て、自分は下タノ助までは第一線
に頭を出さなかつた桜井前知事
はあまりないことだつた。自民党
と社会党の上にうまく乗つかり、
彦達した。しかし寺本ブームはつ
く責任をとつて全部原房を去つ。員の大輶動はまた宿題として残
して、月十一日か
に起きなかつた。縦局はこの一
た。知事選で桜井前知事を応援
されたままだ。

選で桜井前知事を推

して敗れた国民党と連れて松井から日本へ逃げ、統一派が「特別与党」と称し攻撃の手をやめるはず、自由化した失業問題と安

保改反対の大きな流れのなかで国民党である寺本知事を“対決点が明確になった”と追っかけ回した。県内は“桜井色の一掃”を旗印に、やまぐるしく幹部の異動がつづけられて動搖した。そのうえ、師走のあわただしさのなかで、木俣病院紛争調停といふ政治生命をかけた難問題まで背負い込まれてしまった。

◆ 寺本知事が最初に手がけた仕事は、選禁公約にもどりく人の事になる。

刷新だった。よくいえば年半選人事の天井があき、部課長が若がで、寺本知事は孤軍奮闘? “当手、悪くいえば方年部長の桜井前えたのはいいが、入材がいなくて政壇交代のごとなありのなかで、寺本知事は孤軍奮闘? ”当

建設への地ならし

水俣病 陣頭指導が奏功

巡視した知事は下答、松原両ダムと、公営行政を手賃行政に切りかへるの反対で風雲惹をつける小国町に、部課長で済みそうなハンココマ乗り込み、千早城パリに陣どった。自分で押し、陣頭指揮でみずから町の志摩、浅瀬兩部落民に大らドロをかかる寺本知事とは全く声で会見を申し入れたが断わられた。十二月の異動され、憤然と山をくだる一轍などもで、廢止されていた次長制が復活あつた。

議会対策も知事一人、議会昇弁も、の当たる場所に浮かびあがりは、事務組や職員組も担当課課長を相手にじめた。来年からほ人事と機構をとせず、知事との直接談判を求めて、本力ラーを出して来るだろう。て知事を追っかけ回した。六月頭、寺本知事の陣頭指揮が功を奏

桜井前知事（右）から事務引き受けた寺本新知事（左）中
央は水上副知事（2月12日知事室）